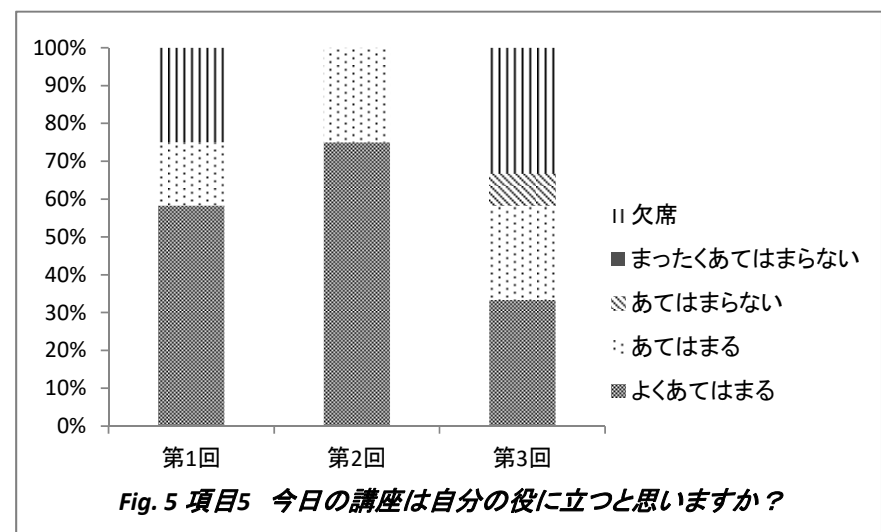
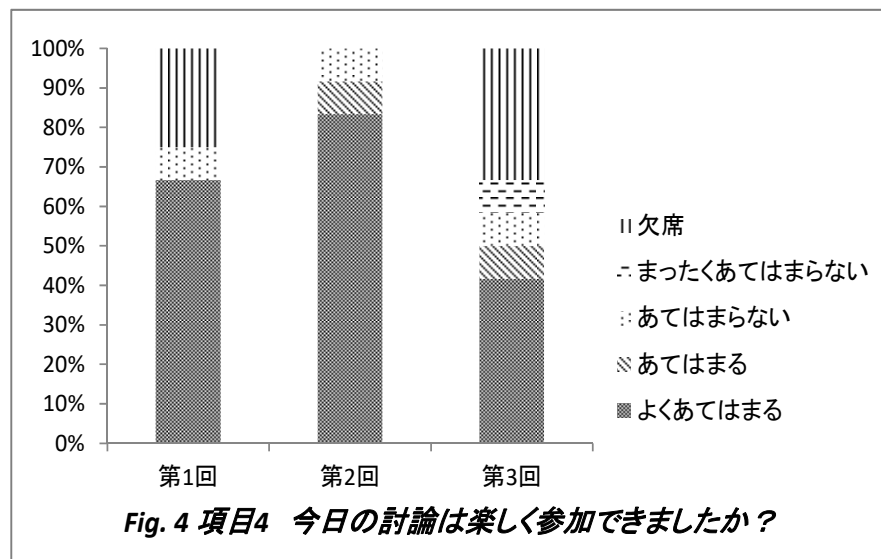
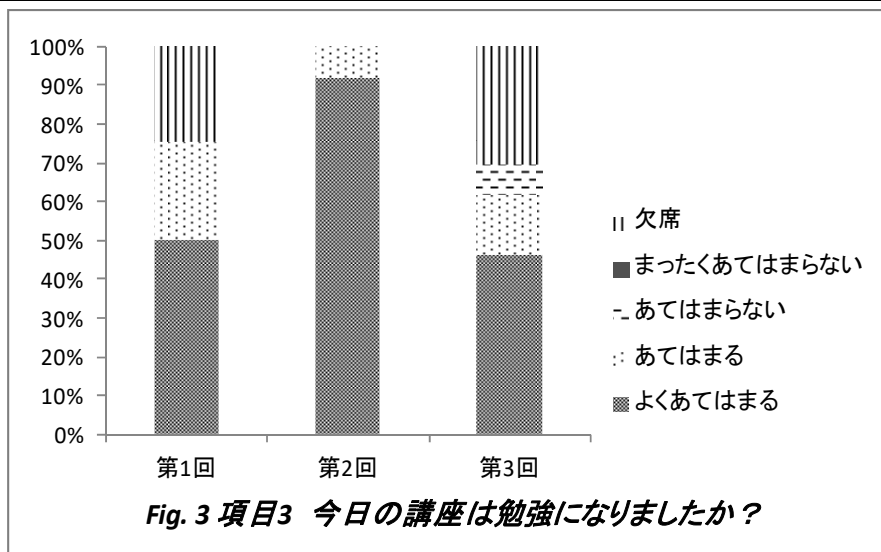


## 生涯学習支援事業報告

事業の名称	オープンカレッジ 「杜のまなびや」	事業代表者	田中 真理
目的	地域社会に対する貢献の一環として、およびインクルーシブ教育の発信として、オープンカレッジを位置づけ、知的障害者への生涯学習支援を行う。また、受講生・企画運営スタッフ・講師が、「学び」の意味を再考する場とする。		
対象者	知的障害のある学外受講生（以下、学習者） 東北大学在籍の学部生・大学院生（以下、共同学習者）		
内容	<p>(1) 講義題目「『ちがう』ということを考えよう」 講師：教育学研究科 田中光晴 先生 2013/9/28 【講義目的】「日本から見た世界」と「世界から見た日本」という2つの視点から、文化を捉えることによって、多様性を理解する。 【講義構成】まず世界と日本の日本との違いを理解するために、フィンランドの学校について紹介した。さらに、自分たちがイメージする「日本」について各班で話し合い、班ごとに発表した後、海外の映像作家が作成した「日本」のイメージ映像を使用し、最後に担当講師による総評が行われた。</p> <p>(2) 講義題目「自分の考え方を伝えよう」 講師：教育学研究科 深谷優子 先生 2013/10/19 【講義目的】他者と協力することによって、より人に分かりやすく伝えることができるという体験をする。 【講義構成】まず担当講師が受講生に対して、伝わる文章を書くための方法について解説をし、その方法の中で仲間同士に手伝ってもらいながら文章を書く、「ピアレビュー」という方法を紹介した。さらに、受講生は「自分の好きなもの」を他者に紹介する文章を作成し、班の中でその文章を発表した。その後、発表した「自分の好きなもの」について班の中で質問し合い、その質問を受けて受講生は最初に書いた文章を書きなおした。最後に担当講師による総評が行われた。</p>		

	<p>(3) 講義題目 「ワークショップ-かんじる・つながる・りかいする」                  講師：教育学研究科 高橋 満 先生 2013/11/9</p> <p>【講義目的】 学びには座学による学びだけではなく、体を動かし、感じる方法があることについて理解し、その方法を体験する。</p> <p>【講義構成】 まず担当講師がワークショップという学習方法について簡単に解説した後、受講者全体で、手拍子で様々なリズムを刻んだり、音楽に合わせて自由に踊ったりするウォーミングアップを行った。さらに受講者の中でグループを作った後、グループで創作ダンスなどを行った。最後に受講生同士で感想を話し合った後、担当講師による総評が行われた。</p>
<p>実施場所</p>	<p>東北大学文科系総合研究棟</p>
<p>スタッフ</p>	<p>川住隆一（東北大学大学院教育学研究科教授）                  田中光晴（東北大学大学院教育学研究科助教）                  深谷優子（東北大学大学院教育学研究科准教授）                  高橋 満（東北大学大学院教育学研究科教授）                  李 熙馥（東北大学大学院教育学研究科博士研究員）                  野崎義和（東北大学大学院教育学研究科博士後期課程）                  横田晋務（東北大学大学院教育学研究科博士後期課程）                  永瀬 開（東北大学大学院教育学研究科博士後期課程）                  松崎 泰（東北大学大学院教育学研究科博士後期課程）                  南島 開（東北大学大学院教育学研究科博士前期課程）                  小野健太（東北大学大学院教育学研究科博士前期課程）                  菅原愛理（東北大学大学院教育学研究科博士前期課程）                  井澤仁志（東北大学教育学部）                  関根杏子（東北大学教育学部）                  富田有紀（東北大学教育学部）                  平野弘幸（東北大学教育学部）</p>
<p>受講生</p>	<p>学習者 12名 : 第1回10名、第2回12名、第3回8名                  共同学習者 7名 : 第1回4名、第2回7名、第3回5名</p>





講義を受けて思ったこと(自由記述)

<第1回目>

- ・ちか(が)うことか(が)おもしろかったです。もういちどべんきょうをしたいです。
- ・グループ討論が楽しかったです。(「色々な意見が聞けてよかった」)
- ・今日は、本当にありがとうございました。とても楽しかったです。

<第2回目>

- ・自分の考えを伝えようをもっとべんきょうしたいとおもいます。
- ・もう少しお話ししたかったです。
- ・今日の勉強会で、自分の気持ちをこれからも、ちゃんとお話していきたいとおもいました。また、勉強をやってほしいです。

<第3回目>

- ・もう少し回数あればいいなと思いました。ダンスやってみたい！！
- ・もりのまなびやにきてとてもたのしかった
- ・カーテンコール、ミュージカルのような映ぞうが見えた。もっと杜まな(杜のまなびや)の日にちをふやしてほしい

※原文通り記載しており、( )内はスタッフが加筆・修正もしくはアンケート記入時に代筆した部分である。

**2013年度東北大学オンラインサロン  
「社のまなびや」受講者募集**

「社のまなびや」とは、知的しようがいのある方と東北大学の大学生・大学院生を対象とした大学公開講座です。東北大学の先生の講義を聞いて、みんなで考え、話しあい、ともに学びましょう！

**日時・内容**

第1回 9月28日(土) 14:00～16:20 田中 亮晴 先生  
「ちがう!ということを考えよう」  
外国と日本との間にはどんな「ちがい」がある? 外国から見れば日本はどんな国? 「ちがう」視点から日本の文化を見てみよう。

第2回 10月19日(土) 10:00～12:00 深谷 優子 先生  
「自分の考えを伝えよう」  
自分の好きなことやものについて、他の人に向けて伝えてみよう。どうしたらうまく伝わるかを一緒に考えよう。

第3回 11月9日(土) 14:00～16:20 高橋 満 先生  
「ローケションツーカーかんじる・つながる・りかいする」  
ローケションとは、実際にからだを動かして、「かんじる」ことで「りかいする」学習方法です。一緒に楽しく学びあおう。

会場：東北大学 文科系総合研究棟  
定員：15名  
参加費：無料

申込先  
東北大学  
東北大学オンラインサロン「社のまなびや」事務局  
〒980-8576 仙台市青葉区川内27-1  
電話 022-995-6148  
メール morinonahibiya@gmail.com

**参加と申込の方法について**

- 参加費 無料
- 持ち物 筆記用具(鉛筆、消しゴム)
- 定員 ひらがなの読み書きができる 知的しようがいのある方 15名  
(高校3年生以上の方を募集しています。)

募集期間 2013年9月31日(土)まで

【定員に達しますと、募集期間内でも締め切らせていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。】

申込方法 定員に達した時点で、電話・メールにてご連絡いただき、別紙の申込用紙に必要事項をご記入の上、郵便もしくはフロップスにてお送りください。

**会場までの地図とバス**

文科系 総合研究棟

バス  
1. 【乗車】 仙台駅より 仙台市営バス (仙台駅 西口 バス乗り場9番) 青葉通 上野師範前 新物公園循環線 行き 『宮城大』行き 『森田山』行き 『青葉台』行き

2. 【下車】 東北大 川内キャンパス・森ホール前

3. 【徒歩】 4分ぐらいで 会場です

『東北大 川内キャンパス 森ホール前』バス停

図書館棟 入口

ロータリー

Fig. 1 「社のまなびや」受講生募集用チラシ